

12月15日（土）光プロジェクト

「医学セミナー（医師の学校訪問）」が行われました。

本校「光プロジェクト」医学部進学支援の本年度最後の企画となる「医学セミナー」が、県の医療人材課のご協力のもと、下記の通り開催されました。本校生2年4名、1年17名の計21名が参加しました。講師は、筑波大学医学医療系で地域医療や家庭医療をご専門にされている、横谷省治先生。具体的な症例をあげて、グループでそれについての診断を行うという、現在の大学で多く行われている講義を実際に体験させていただきました。その後は、その症例の各段階で、どんな医療従事者がどの様に係わるのかというご説明もいただきました。医学部医学科志望者だけでなく、広く医療関係の進路を考えている生徒にとっても意義深い講演でした。本校卒業生の2人の筑波大医学部の学生のサポートも的確で、生徒は生き生きと活動をしていました。

休憩を挟んでの後半は、「医学生とのディスカッション」、2班に分かれて、現役医学生から大学医学部での学びや、高校時代の学習方法などを中心に懇談しました。2人の学生の巧みなリードもあり、生徒達は自分が聞きたいと思っていたことを次々とぶつけた結果、時間内では収まりきらず、講師控室まで質問をしに来る熱心な生徒もいました。学生2人も、生徒達がより具体的なイメージを持てるように、大学の教科書や講義でのノート（すごい情報量でした）、白衣や聴診器まで持参してくれるなど、懇談は和やかでありながらも終始、具体的で熱のこもったものでした。学生の対応力の高さに感心するとともに、次々と質の高い質問をする参加生徒達に頼もしさを感じた半日でした。

- 1 日時 12月15日（土） 13:00～15:00
- 2 場所 下妻第一高等学校 学習館1F
- 3 日程、内容 13:00～15:00

- (1) 講話、質疑応答（60分程度）
横谷 省治（よこや しょうじ）先生（筑波大学医学医療系）
- (2) 医学生とのディスカッション、進路相談（40分程度）
柴崎 史行さん（筑波大医学部3年 下妻第一高校出身）
福元 崇人さん（筑波大医学部2年 下妻第一高校出身）
ディスカッション終了後、グループごとの報告（生徒）と医学生の総括

- 4 参加生徒名簿 21名（2年4名、1年17名）
- 5 セミナー後の生徒アンケートから

◇セミナー参加生徒全員がセミナーは、「大いに役に立った」「役に立った」と回答しました。

◇生徒の感想より

- ・一人の患者に多くの職種の関係者が係わっていたり、患者の生き方にも寄り添うことが大切だとわかりました。
- ・現役の医学生の先輩からは、医学部がどのようなものか、高校時代に大切なことを知れて良かったです。（複数）

- 自分の進路に迷いがあつたがなくなった。あと一年頑張っていく。
- 実際に医師や医学生の話聞いて充実したセミナーでした。勉強へのモチベーションも上がりました。
- 先生の講義は実践的なこともあり楽しく聞けた。医学生の話はとてもわかりやすくてめになることが多くあった。(複数)
- 少人数だと質問しやすくて良かったです。
- 先生の話は自分たちで考える内容が多く、想像力や知識の向上に役立った。医学生には教科書やノートを見せてもらったり、質問したかったことを直接聞けて良かった。
- ますます医療関係の仕事に就きたいと思った。本当に有意義な時間を過ごせた。医師を目指す先輩方のアドバイスを参考にして頑張っていこうと思った。
- 興味深い話が多く、目指す場所がどんなところか改めて自覚できる良い機会だった。
- 医療で今何が必要なのか、また大学生からの視点で医学部はどういうものなのかを聞いて参考になりました。医者がどの様に診療しているのかその考え方を知れて、より医療への関心が高まりました。
- より強く医療系の仕事に就きたいと考えるようになりました。
- これからの勉強を頑張るのはもちろん、いろいろなことに興味を持って進路を考えたいと思った。
- 最近勉強量を増やそうと考えていたのが、今日の講義やディスカッションではっきりとまとまりました。医療について考える上で今まで思いつかなかったことを聞くことができて楽しかったです。
- 医学生との話からたくさんの知らないことを知れたので、それらを生かせるようにしていきたい。
- 医学についてや勉強の仕方などとてもためになった。学生とのディスカッションでは身近なことを聞いて貴重な機会となった。

◎横谷先生による講義風景



◎医学生とのディスカッション



◎セミナー後、講師控え室にて

